

平成29年度行政評価シート【個表】

平成 29 年 6 月 22 日

評価対象事業		評価者	観光商工課担当課長 廣川 正		
市民-11	実施事業	観光振興事業	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務	主管課	観光商工課
	まち・ひと・しごと		<input type="checkbox"/> 法定受託事務	関連課	
総合計画上の位置付け	分野	観光	施策の方針	観光都市としての質の向上	

1 事業の目的

対象	観光客等
意図	多様な観光プログラムと最新の観光情報を提供するとともに、市民・事業者のホスピタリティの向上と観光客のモラルの向上を図るため。
効果	観光客にとっては、観光目的を達することによる満足感が得られ、市にとっては、産業振興、雇用確保などの経済的波及効果や地域の活性化につながる。

2 平成28年度に実施した事業の概要

<p>かまくら四季のみどころや観光マップ等の充実を図り、観光客への適切な情報提供を行った。外国人観光客の増加に対するインバウンド対策として、外国語ガイド活動の支援を強化した。平成27年度からの繰越となった、国の地方創生加速化交付金を活用した光の波プロジェクト及び観光マイレージアプリの制作活用事業を支援した。</p> <p>東大寺サミットを開催し、東大寺建立に関わった市町村との連携を深めるとともに、本市の歴史的、文化的価値について発信した。</p>

3 事業費等基礎データ

データ区分	27年度決算		28年度決算		データ区分	29年度当初予算		備 考
	人 口	世 帯 数	人 口	世 帯 数		人 口	世 帯 数	
人口等のデータ	人 口	177,243人	176,869人	176,869人	人 口	176,466人		・各年3月31日 (住民基本台帳)
	世 帯 数	80,676世帯	80,928世帯	80,928世帯	世 帯 数	81,150世帯		
運営資源状況	事業の対象者数				事業の対象者数			
	決算値(千円)	23,766	24,485	24,485	当初予算(千円)	23,526		
	国県支出金	18,140	15,477	15,477	国県支出金			
	地方債				地方債			
	その他	440	2,843	2,843	その他	2,660		
	一般財源	5,186	6,165	6,165	一般財源	20,866		
事業運営	人員配置数	0.8	1.3	1.3	人員配置数	1.3		
	人件費(千円)	6,465	10,719	10,719	人件費(千円)	11,363		
	総事業費(千円)	30,231	35,204	35,204	総事業費(千円)	34,889		
	市民1人当りの経費(円)	171	199	199	市民1人当りの経費(円)	198		
	対象者1人当りの経費(円)				対象者1人当りの経費(円)			

4 評価結果

※「効率性」「妥当性」「有効性」「公平性」「協働」については、プルダウンで選択。

効 率 性	事業費に削減余地はないか	2. ない
	関連・類似事業との統合はできないか	3. 統合できない
妥 当 性	事業の実施に対する市民ニーズはあるか	3. 変わらずにある
	事業の廃止・休止による市民生活への影響は大きい	3. 廃止・休止による影響は大きくある
	今後も市が実施すべき事業か	5. 豊かな市民生活に寄与することから、今後も市が実施する必要がある
有 効 性	事業の成果は得られているか	2. 成果は概ね出ているが、更なる努力は必要である
	事業の上位施策に向けた貢献度は大きい	3. 事業の方向性や手法は概ね適切であり、一定程度貢献している
公 平 性	受益者負担は公正・公平か	△-1. 今は受益者負担を求めているが、今後、負担の導入を検討する必要がある
協 働	市民等と協働して事業を展開しているか	○-1. 既に市民等と協働して事業を実施しているが、協働のあり方等の見直しが必要である
		協働実施済の場合のパートナー 鎌倉・文化の森 NPO法人JIAOLIU鎌倉
事業内容の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> a: 事業内容を見直す → <input type="checkbox"/> b: 事業内容は現状通りとする <input type="checkbox"/> c: 事業を休止又は廃止する <input type="checkbox"/> d: 他事業と統合し、本事業は廃止する →	見直しの種類 <input checked="" type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> その他 見直しの内容 外国人観光客の増加に対応すべく観光案内サービスを充実させるため、外国語版パンフレット発行部数の増加や外国語ガイド活動に対する支援の拡大を図る。 事業へ統合
予算規模の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> A: 予算規模を拡大する <input type="checkbox"/> B: 予算規模は現状維持とする <input type="checkbox"/> C: 予算規模を縮小する	事業内容・予算規模の方向性設定の理由 年々増加する外国人観光客に対し観光案内サービスを充実させる必要があるため、予算規模の拡大を要する。
総評(評価に対する考え方、根拠等)	今後も引き続き自主財源の確保に努めるとともに、東京オリンピック・パラリンピックの開催を契機に、さらなる増加が見込まれる外国人観光客の受入体制の充実に向け、庁内全体での取組みを進めていく。	

平成28年度事業実施にあたっての課題(前年度未解決の事項を含む)	東京オリンピック・パラリンピックに向け、増加が見込まれる外国人観光客の受入環境の充実を図る必要がある。	
課題解決のために行った平成28年度の取組	外国人観光客の実情やニーズに即した受入環境をつくるため、市民協働で行う飲食店等の外国語版メニュー等を作成することを目的とした多言語メニュー翻訳支援事業を実施した。	<input type="checkbox"/> 解決 <input checked="" type="checkbox"/> 一部解決 <input type="checkbox"/> 未解決
未解決の課題、新たな課題とその理由	年々増加する外国人観光客に対する受入環境の充実を図る必要がある。	

○ 他市比較・ベンチマーク(県内外自治体など他自治体や民間団体との比較値)

比較事項	入込観光客数等(平成27年度)									
団体名	鎌倉市	藤沢市	茅ヶ崎市	平塚市	小田原市	横須賀市	逗子市	三浦市	横浜市	
他市実績	22,926	18,335	3,024	6,922	4,538	8,723	889	5,918	48,592	
比較事項										
団体名										
他市実績										
比較事項										
団体名										
他市実績										
当該事業実施に伴う他市比較に関する考え方	県内全市町村対象に行う入込観光客数調査において、鎌倉市は横浜市に次ぐ延観光客が訪れており、他市に比べ多いことが伺える。									

◎ 事業実施に係る指標

指標の内容	鎌倉に来る前の期待に対する満足度(来訪者アンケート+WEBアンケート)						単位	%	指標の傾向	⇒	備考
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30	H31				
当該事業の実施により、観光客の満足度を向上させるため。	目標値	85.0%	85.0%	85.0%	85.0%	85.0%	85.0%				
	実績値	79.2%	79.5%	76.6%							
	達成率	93.2%	93.5%	90.1%							
指標の内容							単位		指標の傾向		備考
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30	H31				
	目標値										
	実績値										
	達成率										
指標の内容							単位		指標の傾向		備考
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30	H31				
	目標値										
	実績値										
	達成率										
当該事業実施に伴う指標の推移に関する考え方	目標とした数値に近い結果となっていることから、引き続き維持または向上させるよう努めたい。										